

【気象・海況】 大型珪藻の増殖

- 気象 向こう1か月の気温は、平年並から高め。
- 水温 2月下旬から昇り水温期に移行し、新富津観測ブイは13℃前後ではほぼ平年並み（図1）。千葉北部から富津漁場にかけては10～11℃に上昇。
- 栄養塩 内湾で大型珪藻のユーカンピアが増殖したため、リンは全域で基準値以下に減少、特に湾奥ほど少ない（表1）。窒素は全域で基準値以上であった。
- 沖合水 2月下旬以降、強い波及は収まっている。

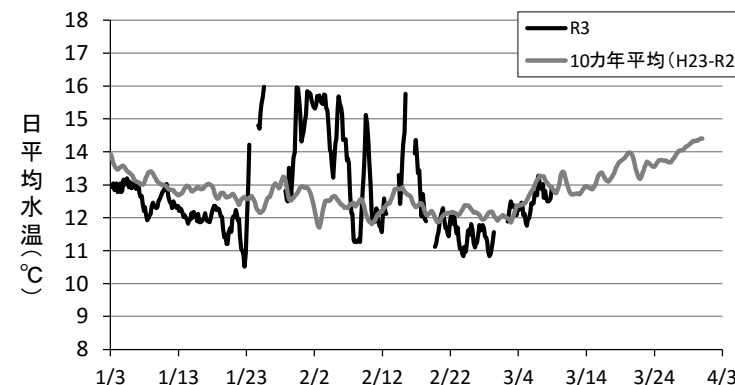


図1 新富津漁場(観測ブイ)の表層水温の推移

【今後の留意点】 栄養塩の動向，量産体制

○リンの減少

大型珪藻のユーカンピアが増加しています。現在のところ、リンは基準値以下に低下したものの、窒素が充分量あるため、急激に色落ちが進行することはない、と考えられます。ユーカンピアの増加は数年ぶりですので、今後の動向に留意して下さい。

○量産体制

全国的に色落ち及び網上げが進行しています。そのため、下物であっても色のある海苔は堅調な価格が期待されます。今後は、あかぐされ病の蔓延に留意し、色のある海苔が生産できる間は、粘り強く生産を継続できるよう計画して下さい。

表1 水質観測結果(3/8)

基準値：窒素 100, リン 10

($\mu\text{g/L}$)	船橋	木更津	富津 (沖ベタ)	新富津 (2海ほ下)	大佐和 (大貫沖)
窒素	303	335	307	287	191
リン	1	5	5	6	8